

施策マネジメントシート ～平成30年度の振り返りから2019年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）
 (5月中に記入)

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野	ひと分野			担当課		健康保険課	
	政策分野	健康・福祉			課長名		長野 望	
	施策	19 健康づくりの推進			重点施策の該当		H30	2019
施策の目的	対象	市民			意図	自ら健康づくりに取組み、心身ともに健康で安心した暮らしができる		

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値
自分を健康だと思う人の割合(%)	61.1	58.0	57.6 (65.0)	67.0	67.0	67.0
健康管理に取り組んでいる人の割合(%)	90.8	91.5	90.3 (92.5)	93.0	93.0	93.0

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
74.9	36.9	78	38.3						
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
72.5	24.2	75.5	25.8						

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値
地域医療体制の充実		現在医療に満足している人の割合(%)	28.7	30.0	28.8 (35.0)	40.0	45.0	50.0
各世代に応じた保健事業の実施		がん検診の受診率(%)	1.14	10.7	10.2 (25.0)	30.0	30.0	30.0
各世代に応じた保健事業の実施		国保特定健診受診率(%)	37.8	36.8	35.9 (40.0)	44.0	48.0	52.0
各世代に応じた保健事業の実施		国保入院医療費の割合(KDBシステム)(%)	56.6	54.8	52.8 (50.9)	48.9	47.5	46.1
健康づくり推進体制の充実		健康教育・健康相談参加人数(延べ人数)(人)	4,414	3,571	720 (3,600)	3,800	4,000	4,200
健康づくり推進体制の充実		保健センター利用者数(人)	14,398	10,807	12,860 (15,500)	16,000	16,000	16,000

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
・国・県は疾病予防、中でも生活習慣に起因する疾病の発症予防、重症化予防に力を入れている。 ・各種教室や広報活動の中で、運動習慣の定着など、自らが健康づくりに取り組む市民の増加に努めた。又、健(検)診のデータを基に保健指導を行い、運動、食事、休養、飲酒・喫煙などの生活習慣の改善や医療機関未受診者の受診につながるよう努めた。	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	・国保特定健診、がん検診ともに受診率はここ数年減少傾向にある。 ・医療費全体に占める入院医療費の割合は減少傾向にある。
現状・課題	・特定健診アンケートの分析から、未受診の理由として健診自体を知らないという回答も多く、健康・通院中のため不要という回答も一定数ある。がん検診についても同様の理由が予想される。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
拡大・充実	・健(検)診の未受診者対策として、普及啓発の方法を見直す必要がある。特に健康な人も毎年健(検)診を受けて体の状態をチェックする必要があること、通院中の人でも特定健診の受診は必要であることなど正しい知識を対象者に浸透させる必要がある。

②-2 政策部会による振り返り(Check)
 (6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
拡大・充実	・施策担当課の記載する方向性のとおり。